

Oguchi Shakyo

2020

4

月号

おおぐち社協だより

年4回発行(4月・7月・10月・1月)第110号

スタッフさんどうしの情報交換が
サロンの活性化につながります!

地域ふれあいサロン連絡会

(令和2年1月30日 健康文化センター)

特集
「食を支える」
4ページ～

CONTENTS

- ② ★地域ふれあい会食会
- ③ ★ふれあいサロン連載コーナー 第5回
★地域ふれあいサロン連絡会
★余野区サロン勉強会
- ④ ★かんたん料理教室
- ⑤ ★ぽっかぽか子ども食堂
社協の食料支援のお話
- ⑥ ★赤い羽根共同募金
- ⑦ ★おせち料理配布事業
★米寿のお祝品贈呈事業
★障がい者スポーツを知っていますか?
- ⑧ ★町内福祉関係団体のご紹介
- ⑩ ★大口子育て情報ぎゅっと
- ⑪ ★介護豆知識
- ⑫ ★ボランティア情報局
- ⑭ ★福祉サービス利用援助事業
★東日本大震災から9年
- ⑮ ★心配ごと相談所開設日程
★自動車・車いす等貸出サービス
- ⑯ ★点訳ボランティア養成講座
★サロン備品買替のテーマ型募金
★善意だより

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

事務局

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15

電話 (0587) 94-0060 FAX (0587) 94-0059

〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地

大口町健康文化センター(ほほえみプラザ) 2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



ふれあいサロン連載コーナー 第5回 さつきヶ丘区 元気会

日 時 第1金曜日・第3火曜日 13:00～15:00
場 所 さつきヶ丘防災センター
参加費 100円(飲み物・お菓子付き)



「第2回ピンポンショット大会」
1回目の最高得点は、最高齢の方!



元気会の参加者とスタッフのみなさん

平成21年5月にオープンした「元気会」は、令和2年5月で丸11年を迎えます。ひとり暮らしの高齢者がさつきヶ丘で少しずつ増えてきた頃、
「近くで集まって、元気?と声をかけあえる場があるといいね。」との住民の声を聞き、当時のスタッフがり暮らしの高齢者を訪問して呼びかけ、元気会が始まりました。
現在、参加者は15名ほど。80代・90代の方も多く、最高齢は98歳です。
月2回、茶話会やゲーム、簡単なクイズ・体操などを計画。歩いて来られない人も、車の乗り合わせやスタッフの送迎で会場へ集まります。

元気会の特徴は、少人数だから楽しめるサロン。さつきヶ丘の方ならどなたでも、おひとりでも安心して来られるアットホームな雰囲気です。
茶話会の後は、手作りゲーム大会。全員参加で、勝つても負けても大笑い! 得点順のお菓子、優勝や皆勤賞の表彰もあり、ちよとした工夫で大熱戦になります。
スタッフのみなさんは、「参加者の方が、これからも元気会を続けて欲しい」と言ってくださるのがうれしい。ひとりひとりの人を大切に、私たちも元気にサロンを続けていきたいです。」と話しています。



外坪区ほっこり

外坪ほっこり開設7周年記念 ぜんざい会(外坪学共)



さつきヶ丘区ふれあい

10年続くふれあいおでん大会(さつきヶ丘防災センター)

地域包括ケアシステムってこういうこと⑦
人をつなぎ、孤立を防ぐ地域福祉
地域ふれあい会食会



上小口区散歩道

うれしいサンドウィッチ付きモーニング(上小口学共)



河北区陽だまり

彩のよいちらし寿司で会食会(仲沖集会場)



上小口萩島地区茶々会

男性やお孫さんも加わりミニお寿司で会食(萩島集会場)



会食会の軽食メニューいろいろ

余野区サロン勉強会



12月10日、余野学共でサロン勉強会を開催し、約20名が参加しました。「余野でもサロンを」との声が聞かれるようになり、現在、立ち上げに向けてサロンボランティアを募集中です。

お問合せは、社協までお気軽にどうぞ。

社会福祉協議会 電話 94-0060

地域ふれあいサロン連絡会



1月30日、地域ふれあいサロン10か所のスタッフさんの連絡会を健康文化センターで開催しました。

お互いの活動やおすすめアイデアを情報交換し、「他のサロンの話を聞いて、またがんばろうと思った」「うちのサロンでもやってみたい」と、スタッフさんの意欲を高める機会となりました。

サロンで会食、その効果は?!

地域のサロンで年数回、軽食メニューを提供する「地域ふれあい会食会」を社協が提案し、支援を始めて3年。

参加者のみなさんは、普段のお茶菓子とは違うメニューを楽しみに参加。口コミで新しい人もやって来ます。ぜんざい、おでん、サンドウィッチ、おはぎ、ちらし寿司など、スタッフさんの楽しいアイデアで準備し、みんなで食べればごちそうです。

スタッフさんどうしの団結力も高まり、「普段から地域で食事を提供することに慣れておくと、災害時にも役立つのではないかな?」との声もいただいています。

まだ参加したことがない方、お待ちしております!

社協がキャッチした地域情報をお届け

ぽっかぽか子ども食堂

2月15日、カフェアントを会場に、大口町で初めて子ども食堂がオープン。子どもや親子で参加の大人など、スタッフを含め88名が参加しました。

色とりどりのおかずは、すべて手作り。運営者の「ひまわりの会」の飯野孝雄さんが中心となり、喫茶店の厨房を借りて、スタッフ総出で準備します。企業協賛品の食材も加えた夕食は、おいしいと好評。楽しい雰囲気を感じられたとの感想も寄せられました。

ぽっかぽか子ども食堂
■連絡先
大口町まちづくり団体
ひまわりの会
電話 080-4888-2525

スタッフの飯野佳子さんは、「子どもが大好きなスタッフが集まりました。ひとりで食事することが多い子どもも大人も、みんなでごはんを食われて、居場所になるような子ども食堂にしたいです。」と話しています。



食べ物に困ったら相談を 社協の食料支援のお話



セブン-イレブン店舗改装により発生した在庫商品の食料の一例



寄贈食料活用事業

寄贈された食料を無駄なく、地域のみなさまへ

今回、セブン-イレブン様から寄贈されたおやつは、
・卒業・卒園のお祝いとしてひとり親家庭の方へ
・地域サロンや子育てサロンなどへ 配布予定です。
食材や調味料は、子ども食堂等でも活用いただく予定です。

「病気や障がい働けなくなつた」「仕事を急に解雇された」「生活費のやりくりがうまくできなかつた」など、さまざまな理由でお金がなくなり、食べ物に困る方の事例が、大口町でも毎年発生しています。

社協は、フードバンクから取り寄せたり企業から寄贈されたりした食料を困っている方に直接手渡します。必要に応じて、生活費のやりくりや生活の立て直しまで支援します。

また、昨年6月、愛知県と愛知県社協とセブンイレブンの三者は、店舗改装時等に発生する在庫商品を社協へ寄贈し、生活に困難を抱えた方等を支援する仕組みを作るため協定を締結しました。

これにより、大口社協も在庫商品の受け入れを行い、生活費のやりくりが困難になつた町民の方の相談を受け、食料支援を行いました。困ったときはご相談ください。

電話 94-0060

食を支える、くらしを支える

~いつまでも健康に食べることができるように



くらしのおたすけ講座 かんたん料理教室 総集編



80歳以上の2割が低栄養?!
元気にくらすために必要な食事は?

毎日のくらしに欠かせない「食」。生活支援サービスの環として、食をテーマに年4回の講座を健康文化センターで開催し、中高年の男性や介護者を中心に、毎回10数名が参加しました。

健康生きがい課の管理栄養士さんによると、孤食の人は、白い飯やパンなどで済ませ、野菜やたんぱく質をとらない傾向にあるそう。偏った食生活は、低栄養による病気や転倒のリスクを招きます。

そのため、栄養面を気にするだけでなく、人と一緒に食べる

ことも大事との話もありました。

講座では、おたすけ隊も加わりグループ交流を楽しみながら、季節の野菜たっぷりと時短のおたすけメニューの調理と会食を行いました。

丹羽三さん、藤田尚男さん、早川忠夫さん、森田旭さんらのグループでは、

「ひとり暮らしになつてから、夜は宅配弁当、朝食は仕方なく自分で...笑。今日はみんなで料理を作つて食べて、楽しかった。」

「健康のために、こういう場に出て来なかね。家でも作つてみたが、また集まりたい。」とのお話が出ていました。

今後も、社協はくらしに役立つ講座を開催予定です。

おたすけメニューを一部紹介!



トマトとツナのさっぱりごはん
焼きねぎとり
なすとタコのマリネ
合計 672 kcal



親子丼(サラダチキンで!)
じゃこキャベツ
里芋のサラダ
バナナコッタ 合計 795 kcal



あんかけ焼きそば
大根と鶏の煮物
合計 650 kcal

大根と鶏の煮物の作り方(4人分)
①大根の皮を厚めにむき、2センチの厚さの半月切りにする
②鍋に大根とひたひたの水を入れて、中火で沸騰後10分煮て湯を捨てる
③②の鍋に鶏もも肉、★を加えて中火で沸騰後15分ほど煮る

大根1/4本 鶏もも肉 150グラム(カット肉が便利)
★水400ml、顆粒和風だし小さじ2、しょうゆ・みりん大さじ2、酒・砂糖大さじ1

おせち料理配布事業

民生委員さんのご協力により、12月30日に年末の見守りを兼ねて、ひとり暮らしの高齢者の方等(※)へおせち料理をお届けしました。
(※)対象世帯は、町内在住の85歳以上の単身世帯、または85歳以上の方のみで構成された世帯です。



米寿のお祝い品贈呈事業

町内在住で、在宅の満88歳を迎えられる方を対象として、敬老のお祝い品と、町長と社協会長連名のメッセージカード、絵手紙をお渡しすることを目的に、お誕生月にご自宅を訪問しています。
カードにはお祝いの言葉と「心おだやかに過ごしてくださいようお祈り申し上げます」とのメッセージが添えられています。



CHECK! 障がい者スポーツ特集

障がい者スポーツを知っていますか？

本格的な競技として取り組む人、リハビリやレクレーションの一環として楽しむ人まで広く親しまれている障がい者スポーツ。

近年は『パラスポーツ』とも呼ばれ、注目が集まっています。

障がい者スポーツの中には、障がいがある人もない人も、みんなで楽しめるスポーツが数多くあります。その中から、今回は一部の障がいスポーツをご紹介します★



ポッチャ

※パラリンピック公式種目

主に重度の障がいをもつ選手のために考案された競技。
的となる白い『ジャックボール』に対して、赤青それぞれ6つのボールを相手より近くに投げた方が勝ち。
高い戦略性と投球の正確性が魅力の競技です。

大口社協では、障がい者スポーツ用備品の貸出を行っています。ポッチャやアキュラシー、ディスクゲッターなどの用具を揃え、町内で活動する団体等に貸出しています。

料金は無料ですが、貸出には条件がありますので、お気軽にお問合せください。

問合せ先: 社会福祉協議会
電話 94-0060 FAX 94-0059



アキュラシー

5～7m離れた円形のゴールを狙ってディスク(一般的な呼称はフリスビー)を10枚連続投し、より多くディスクがゴールを通過した方が勝ち。
全国障害者スポーツ大会の正式競技になっており、すべての障がい者が同じ条件で行える唯一の競技です。

上記でご紹介した競技をはじめ、障がい者スポーツは、障がいの有無や年齢にかかわらず、誰もが一緒になって楽しめるものばかりです。
物品の貸出とともに、必要に応じて指導員の資格を持つ職員がお伺いし、ルール等を直接お教えすることも可能です。
ぜひご相談ください。
社協職員(初級障がい者スポーツ指導員)



じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

みなさまの温かいご協力ありがとうございました

募金総額 **3,595,307円**



●赤い羽根共同募金

区分	件数	金額(円)
戸別募金	-	2,331,920
街頭募金	4	67,408
法人募金	6	68,000
職域募金	30	491,316
学校募金	4	65,907
イベント募金	1	20,190
テーマ型募金	7	39,930
自動販売機	2	321,046
その他募金	3	11,008
合計	57	3,416,725

●歳末たすけあい募金

区分	件数	金額(円)
街頭募金	3	74,130
職域募金	16	83,452
その他募金	3	21,000
合計	22	178,582

(最終実績報告 令和2年3月1日現在)



12/22

大口町更生保護女性会の皆さんと 歳末たすけあい街頭募金活動



御礼

令和元年度の赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金について、町民の皆様、企業・法人様のあたたかいご支援とご協力により、多大な成果を上げることができました。心より御礼申し上げます。

本来、大口町では共同募金運動の実施期間を10月から12月までとさせていたのですが、今年度からは3月まで期間を延長し、新たな取り組みとして、使途を『ふれあいサロンの備品買替』に限定したテーマ型募金についても、7か所の地域のふれあいサロンで実施させていただきました。

お寄せいただきました募金は、大口町の地域福祉推進の貴重な財源として有効に活用させていただきます。

今後とも共同募金へのご理解を賜いますようお願い申し上げます。

大口町共同募金委員会
会長 村田 貞俊

歳末たすけあい募金にご協力いただいた皆様

町民の皆様

アピタ大口店、ヨシツヤ大口店、パロースーパーマーケット大口店、ホームセンターパロー大口店、(福)愛生福祉会特別養護老人ホーム御桜乃里、(福)一期一会福祉会 大口一期一会荘、(福)おおぐち福祉会 ハートフル大口、(社)尾北医師会、尾北看護専門学校、大口郵便局、大口南郵便局、JA愛知北大口支店、大口町商工会、大口町役場、NPO法人憩いの四季、喫茶ほほえみ、(社)大口町コミュニティ・ワークセンター、大口町民生委員・児童委員協議会、大口町更生保護女性会、大口町心身障害児(者)親の会 (福)大口町社会福祉協議会(※敬称略・順不同及び略号掲載)



大口町心身障害児(者)親の会 会員数 33名



大口町心身障害児(者)親の会は、昭和54年に4人の親たちが「知的・身体に障がいをもつわが子の幸せを願い、地域で生活できる仕組みの充実を求めようと、仲間の親たちと呼びかけて発足しました。大口町内に在・大口町内の事業所を利用して心身障害児(者)を保護・養育している保護者で結成された会です。

発足時は12名だった会員は、現在33名。健康文化センター1階の『喫茶ほほえみ』を活動拠点として、心身障害児(者)の福祉増進と会員相互の親睦連絡調整等を中心に活動しています。

また、近隣市町の『親の会』と交流をはかり、研修や情報交換を行いながら、会員の資質向上に努めています。

12月1日、健康文化センターほほえみホールで、クリスマス会を開催しました。日頃親の会を温かく見守り支えてくださる町長をはじめ、町職員、丹羽ライオンズクラブ、民生委員・児童委員、ボランティアの皆様をお招きし、総勢65名が参加しました。

今年の出し物は、人形劇クラブ「わらしべさん」でした。この日のために新作を用意され、影絵では『一寸法師』、手遊びでは来賓の方も交えて童心に返ったようでした。

人形劇『狼と七匹のこやぎ』では、ラップ調の音楽に合わせて皆さんノリノリで楽しみました。

そして、町長と丹羽ライオンズクラブ会長、幹事のみなさんがサンタクロースになりきり、親の会参加者にプレゼントが手渡され、みんなにこにこ。笑顔あふれる楽しいクリスマス会のひとときを過ごしました。



『親の会』クリスマス会の様子(健康文化センター4階ほほえみホール)

ム〜の会

丹羽郡合同スポーツ交流会を開催

『親の会』では毎月第2日曜日、扶桑町の『父母の会』と合同で「ム〜の会」という障がい者スポーツを楽しむ会を行っています。

場所は大口町健康文化センター多目的室。村田スポーツ指導員のもと、ボッチャやフライングディスクなどの投げ方やルールを覚えます。

今年度は2月16日(日)、中央公民館集会所にて丹羽郡合同スポーツ交流会が開催され、家族やスタッフを含めて51名が参加されました。



←自力で投げられない人は、滑り台(勾配具)を使ってゲームに参加しています。



大口しらゆり会 会員数 4名

大口しらゆり会は、こころの病をもつ人の家族会。

平成23年、尾北しらゆり会の大口支部として発足し、平成28年4月より各支部が独立した家族会となったため、名称を「大口しらゆり会」に改めました。

毎月(2月・8月を除く)第1金曜日、午前10時から健康文化センター2階のボランティア室で定例会を実施。こころの病をもつ人の家族どうしが、同じような悩みや将来について本音で語り合い、情報交換をしながら、支え合う活動を行っています。



大口しらゆり会会員

また、ボランティア「さくらんぼ」と力を合わせ、『フリースペースれんげそつ』の運営も行っています。

町内福祉関係団体のご紹介

(会員数は令和2年2月29日現在のデータ。各団体に関するお問い合わせ・入会希望等は、大口社協 94-0060まで)

大口町身体障害者福祉協会 会員数 43名

女性部

交通安全グッズを町へ贈呈



交通安全グッズを町長へ手渡す
山田会長と会計・長谷川氏



江南警察署の方々と一緒に、交通安全キャンペーン(パロー大口店)

身体の不自由さを知る当事者だからこそ、皆に身体を大切にしたい、交通事故がなくなって欲しい、という願いを込めて…。

令和元年度のグッズは、一針一針刺しゅうを縫い上げた通帳入れ。半年をかけて300枚を準備しました。

大口町身体障害者福祉協会は大口町の身体障がい者の福祉向上や文化活動の支援、スポーツ活動の振興を目的として、昭和33年に創設された、当事者の団体です。

会員は定期的に「つどい、季節の行事、研修会、講演会、近隣市町の身障協会との交流等」を行っています。

また、女性部は毎年、自分たちでできる社会貢献活動として、交通安全グッズをひとつひとつ手作りをして、町へ贈呈。

毎年11月、警察署の交通安全キャンペーンとして、町内スーパーで来店者へグッズを配布しながら交通安全を呼びかける活動を続けています。

大口町母子寡婦福祉会 会員数 32名

大口町母子寡婦福祉会は、母子家庭及び寡婦の福祉向上を目的とした団体です。

戦後まもなく、母子福祉会として戦後遺児のための支援を行う団体として全国に広まり、のちに配偶者に先立たれた寡婦の支援も行う母子寡婦福祉会となりました。

会では、会員相互の親睦、生活意欲の向上を図るための活動を行っています。



- 母子家庭の生活相談
- クリスマス贈物配布事業
- 入学・進学祝品配布事業
- 会員の交流と親睦をはかる
- 目的の日帰り旅行、研修会等

大口町遺族会 会員数 122名

遺族会は、太平洋戦争において戦地等で亡くなられた戦没者遺族の全国組織として、昭和22年に創設されました。主に、戦没者の慰霊、遺族の福祉の増進・生活相談等の事業を行っています。

大口町遺族会では、全国戦没者追悼式、愛知県護国神社等の参拝、大口町平和祈念事業における慰霊祭等に出席しています。

また、平和の尊さ・命の尊さを次世代に伝承することを目的に、毎年、大口中学校2年生を対象とした「平和学習会」に講師を派遣しています。



令和元年度は、大口町在住で、大口町遺族会会員の福富録寿さん(ふくとみ るくじゅ)さんが講師となり、戦争の悲惨さや平和の尊さを中学生に伝える「語り部の会」を開催しました。



春は「おでかけ」が楽しい季節ですね。外に出ると景色の変化や、花や風の香りに脳が刺激されて、気分転換出来ますよ。歩くことで体力の維持ができるので、一石二鳥ですね。でも高齢者の車の事故のニュースもよく耳にします。そこで、今回は安全に外出できる車の装備や免許返納後の特典、【外出手段】の一例をご紹介します。



《安全に運転できる装備》

急加速抑制装置	アクセルを強く踏み込んでも急発進しません。バックも急発進しません。アクセルとブレーキを同時に踏み込んでもブレーキが優先します。お持ちの車に取り付けることが可能です。
衝突被害軽減ブレーキ	障害物をセンサーで感知して衝突を回避する自動ブレーキです。お持ちのお車に後付けはできません。2011年11月から販売される国産車のすべてに自動ブレーキの設置が義務付けられます。

《免許返納後に受けられる特典》

タクシー料金の1割引(70歳以上)、薬局・メガネ店・飲食店・テーマパーク等の割引があります。免許返納後に取得できる「運転経歴証明書」の提示が必要となります。 問合せ先:大口町民安全課 電話 95-1966

《外出手段の一例》

前二輪の三輪自転車(電動もあります)



電動四輪自転車



電動カート



名称	対象者	サービス内容	問い合わせ先
大口町コミュニティバス	どなたでも利用可能	1乗車 100円(小学生以下無料) 1日乗車券 200円	大口町町民安全課 電話 95-1966
外出支援サービス助成(タクシーチケット)	・80歳以上の高齢者の方 ・75歳以上の単身高齢者、又は75歳以上の高齢者のみの世帯の方 ・要介護1～5の認定を受けた方 ※いずれも町民税非課税の方が対象	高齢者の通院、買物、社会参加等を支援するための料金の一部を助成します。1年間で基本料金48回分。	大口町健康生きがい課 電話 94-0051
車両の貸出	・送迎を利用の方が大口町在住。 ・運転者は大口町外の方でも可能です。	車イス専用軽自動車を貸出します。利用料と走行距離に応じた燃料費がかかります。事前予約が必要です。	社会福祉協議会 電話 94-0060



【編集】大口町NPO登録団体「まみーぽけっと」
【HP】<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/>

大口町内に歯科医院が何軒あるかご存知ですか? 10軒あるんですよ。

近くて自分にあった歯科医院を探しましょうね。

◆尾北歯科医師会管内における大口町の歯科◆

医 院 名	受付時間	休 診	午後休	電話番号	備 考
伊藤歯科医院	9:00～12:00	木日祝		95-3680	歯科、小児歯科
大口歯科	9:00～12:00 14:30～19:00	木日祝		95-3745	歯科、小児歯科、矯正歯科 土 18:00まで診療
オーシマ歯科	9:00～12:00 14:30～19:20	木日祝		95-6166	歯科、小児歯科、 歯科口腔外科、矯正歯科 土 18:00まで診療
医療法人 医仁会 さくら総合病院	9:00～12:00 13:30～19:30	日祝	土	95-6711	歯科、歯科口腔外科 時間外救急対応有
丹羽歯科	9:30～11:30 14:00～18:30	木日祝		95-6655	歯科、小児歯科、 歯科口腔外科、矯正歯科 土 16:30まで診療
藤本歯科医院	9:30～18:00	水日祝		81-4321	歯科、小児歯科、矯正歯科
舟橋歯科クリニック CTインプラントオフィス	9:30～13:00 14:30～19:30	木日祝		95-7100	歯科、小児歯科、 歯科口腔外科、矯正歯科 土 17:00まで診療
本来堂デンタル クリニック	9:00～12:00 14:00～19:00	木日祝		96-0817	歯科、小児歯科、 矯正歯科 土 17:00まで診療
もみの木歯科	9:00～12:00 14:30～18:30 (土)17:30まで	木日祝		95-3939	歯科、小児歯科、 歯科口腔外科、矯正歯科 祝日のある週は木診あり 土 18:00まで診療
ライフデンタル クリニック	9:00～12:30 14:30～19:30	木日祝		95-0046	歯科、小児歯科、 歯科口腔外科、矯正歯科 土 17:00まで診療

☆毎年6月と11月には、幼児から小学3年生までの児童にフッ化物塗布を保健センターで行っています。

高齢者福祉関係

うさぎとかめ	高齢者疑似体験
クリーンの会	高齢者施設の買い物介助
給食ボランティアさくら	デイサービスの給食作り
調理ボランティアすみれ	デイサービスの給食作り
ヤグルマソウ	高齢者施設での化粧ボランティア
介護ボランティアドリーム	買い物介助
NPO法人 わたぼうし	在宅高齢者の日常生活支援
傾聴ボランティアだんぼ	『傾聴サロン笑桜会』の運営

子育て支援関係

大口おもちゃ図書館さくら	遊びの広場・おもちゃ図書館の運営
おもちゃ病院おおぐち	おもちゃの修理
リトルベアーズ北	未就園児の子育てサークル
リトルベアーズ南	未就園児の子育てサークル
食育サポート	保育園での食育活動
南食育サポート	南保育園児と農業体験
支援ボランティアなすび〜ず	『子育てサロンまむ*まむ』の運営

災害ボランティア関係

D・サポート丹羽	防災活動
災害救援ボランティア	防災活動、研修の実施
大口絆つなぐネット	災害復興支援活動

地域活動関係

親話会	地域安全パトロール
矢戸川をきれいにする会	矢戸川周辺の清掃活動
オカリナピッコロ	施設等でのオカリナ演奏活動
レクリエーションボランティアここね	地域のつどいの場での出前レク
健康づくりボランティア楽舞遊	演武の披露、福祉施設での慰問活動
編集ボランティアOZ	ボランティアの情報発信

新しいボランティアサークルが誕生しました!

健康づくりボランティア楽舞遊

大口町内で活動している太極拳のメンバーが集い、新しいボランティアサークル『楽舞遊(らぶゆう)』が誕生しました。
町内外を問わず、地域のつどいや各種イベントで太極拳や舞を披露したり、福祉施設に出向いて慰問活動を行っています。
メンバーの中には太極拳の本場・中国出身の方も。和気あいあいとした雰囲気の中で、皆さん精力的に活動しています。
あなたも、太極拳を通じて健康な身体を手に入れませんか?



■編集後記■ 取材・作成／編集ボランティア OZ

机つる 方言だとはい つい知らず 「つる」は「吊る」だと もの知りきどり
次回から この辺だけの 言葉です っ可愛く言おう 忘れずに

「わたしたちと一緒に活動しませんか」

令和2年3月現在、大口町ボランティアセンターに登録しているボランティアサークルを紹介します。



ボランティア活動保険って?

「どんなときに補償されますか〜?」

傷害事故・・・ボランティア活動中の急激・偶然・外来の事故によりケガをした場合に保険金をお支払いします。

- ボランティア活動中に転んでケガをした。
- ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあった。
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。

賠償事故・・・ボランティアがボランティア活動中の偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより法律上の賠償責任を負った場合に保険金をお支払いします。

- ボランティア活動中、誤って他人にケガをさせた。
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤ってガラスを割った。
- ボランティア活動で後片付け中、誤って他人にケガをさせた。

「どんな人が入れますか〜?」

自発的な意思に基づき、他人や社会に貢献する非営利のボランティア活動をおこなっている個人またはボランティアグループ、特定非営利活動法人(NPO法人)の方々が、加入できます。

「掛け金はいくらですか〜?」

掛け金は年間250円から350円とコースによって違います。

お申し込み、お問い合わせは、大口町社会福祉協議会(94-0060)までお願いします。

障がい福祉関係

音訳ボランティア たんぽぽ	広報の音訳
要約筆記サークル スマイル大口	聴覚障がい者への要約筆記
大口町手話サークルほほえみ	聴覚障がい者との交流、手話の勉強会
大口町手話サークルコスモス	聴覚障がい者との交流、手話の勉強会
点訳フレンド	広報の点訳
ガイドボランティアあい♡あい	視覚障がい者外出支援
なでしこ	手作り品の製作販売によるハートフル大口への支援
支援ボランティアなすび〜ず	喫茶ほほえみ内での障がい者実習支援
さくらんぼ	精神障がい・発達障がいをもつ当事者のためのフリースペース「れんげそう」の運営



令和2年度

心配ごと相談所開設日程

専門の相談員が対応し、秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。ご家族や福祉関係者からの相談も可能です。

●母子自立支援相談(原則第1水曜日 ※一部変更あり)

経済問題、就労、進学、各種手続き等に関するひとり親家庭のための相談。女性の母子自立支援員が対応します。

●女性相談(原則第1・3水曜日)

家庭、離婚、人間関係、介護、子育て、DV等に関する女性のための相談。女性相談員が対応します。

●高齢者・障がい者の弁護士相談 (原則第4水曜日)

ご高齢の方、障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して暮らしていくために、弁護士が身近な心配ごとの相談にのります。

※弁護士相談は完全予約制です

相談時間はおおむね30分間ですので、あらかじめ相談内容をまとめてきてください。

お問合せ・予約受付:

社会福祉協議会 電話 94-0060
FAX 94-0059



内容 月	母子 自立支援相談 女性相談 10:00~15:30	女性相談 10:00~15:30	高齢者・ 障がい者の 弁護士相談 13:30~16:30
4月	1日(水)	15日(水)	22日(水)
5月	13日(水)※	20日(水)	27日(水)
6月	3日(水)	17日(水)	24日(水)
7月	1日(水)	15日(水)	22日(水)
8月	5日(水)	19日(水)	26日(水)
9月	2日(水)	16日(水)	23日(水)
10月	7日(水)	21日(水)	28日(水)
11月	4日(水)	18日(水)	25日(水)
12月	2日(水)	16日(水)	23日(水)
1月	6日(水)	20日(水)	27日(水)
2月	3日(水)	17日(水)	24日(水)
3月	3日(水)	17日(水)	24日(水)

(※)原則週の水曜日から日程が変更されていますので、ご注意ください。

困っている方の生活を社協が伴走して支えます。

ふくしサービス利用援助事業

福祉サービス利用援助事業

(日常生活自立支援事業/愛知県社会福祉協議会委託事業)

公共料金の支払いや
お金のやりくりが
うまくできない...

通帳や印鑑をなくして
しまいそうで心配だ...

ヘルパーさんを
頼みたいけど...
どうすれば
いいのかしら?

このようなことで、お困りではありませんか?

どんな人が利用できるの?

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、お金の出し入れ、書類の管理をすることが不安な方です。

※契約締結審査会の承認が必要です。

利用料はいくらかかるの?

援助内容	利用料
・福祉サービスの利用援助 ・日常的金銭管理サービス	1回1,200円 生活保護受給者は無料
書類等の預かりサービス	年間3,000円(月額 250円)

お気軽に
ご相談ください!

●お問い合わせ・ご相談先
社会福祉協議会 電話 94-0060
FAX 94-0059

どんなお手伝いをしてくれるの?

大口社協の専門員が支援計画をつくり、生活支援員が定期的にご本人のところに伺い、お手伝いをします。

●福祉サービス利用のお手伝いをします。

福祉サービスの利用に関する相談・情報提供、利用料の支払い手続き、苦情解決制度の利用手続き

●福祉サービス利用のお手伝いにあわせて、次のようなサービスも利用できます。

- 日常的なお金の出し入れをお手伝いします。
年金や福祉手当の受領に必要な手続き、病院への医療費・公共料金の支払いの手続き、生活費に必要な預貯金の出し入れ等
- 日常生活に必要な事務手続きをお手伝いします。
住宅改造などに関する相談・情報提供、住民票の届出等の手続き、日常生活上の消費契約の手続き
- 大切な書類等をお預かりします。

東日本大震災から9年 ~忘れない3.11 災害への思いあらたに

令和元年度 社協の災害・防災の取り組み

- 7月 ●中小小口で災害用トイレの啓発
- 9月 ●災害ボランティアコーディネーター養成講座(4回)
- 10月 ●災害ボランティアセンター立ち上げ訓練
●北地域避難・防災訓練で災害ボランティアセンターと災害用トイレの啓発
- 11月 ●ふれあいまつりで災害時の炊出し訓練
岩手県遠野市民と交流、名産品の販売
●長野県で台風第19号の復興支援活動
(被災地支援ボランティアバス運行)
●大屋敷区で災害用トイレの啓発
●大口西小学校で防災教室
- 3月 ●健康文化センターで災害パネル展

3月11日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、追悼式が中止等になる異例の事態の中、日本は震災から9年を迎えました。いまだ故郷に帰ることができず、全国各地で避難生活を送る人は、約4万8千人(令和2年2月28日現在、復興庁)。震災は、9年経った今も、続いています。

震災の日、わたしたちが災害に対する思いをあらたにする日。近年は、地震だけでなく、風水害などの災害も相次いでいます。命とくらしを守るために、自分たちができる災害への備えを地道に続けよう...! 社協も、地域住民やボランティア、町関係者のみなさまの参加と協力により、災害・防災の取り組みを続けていきます。

地域住民の方へ貸し出します! 自動車・車いす等貸出サービス

福祉車両(軽自動車)・普通自動車



自動車の貸出

- 利用条件 ①送迎を利用する方が大口町に居住すること
②貸出車両の保管場所を確保できること
③運転手を確保できること

- 貸出車種 ①車いす利用の方に対する貸出車両は、車いす専用自動車
②ふれあいサロン送迎・生活支援サービス等の地域の活動に対する貸出車両は、車いす専用自動車または普通自動車

貸出回数 原則月2回まで

利用料金 利用料 1回300円(ふれあいサロン送迎は利用料無料)
利用料に加え、走行距離15km未満 200円
走行距離15km以上10km単位200円

貸出方法 事前に電話等で予約が必要。貸出当日、社協窓口で申請書を提出後、健康文化センター正面玄関前で貸出車両をお渡します。原則8:30~17:15の間に貸出、当日返却。

普通型車いす



松葉杖



車いす・松葉杖の貸出

- 利用条件 ①利用者が大口町に居住している、または大口町に居住する方の親族等が、大口町に滞在し必要とするとき
②1ヶ月以上の利用の場合は、1ヶ月毎の更新手続きができること

貸出期間 必要に応じて延長可能

利用料金 年間500円(1週間以内は無料)1週間を超える利用は、維持管理費として500円の協力金が必要。

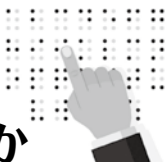
貸出方法 貸出当日、社協窓口で申請書を提出後、その場で貸出品をお渡しします。
※車いすは自走式と介助式があります。貸出し可能な在庫についてはお問い合わせください。

貸出サービスについて、詳しくは社会福祉協議会までお問合せください。 電話 94-0060

点訳ボランティア養成講座

点字

に触れてみませんか



点字・点訳の技能を身につけて、目の不自由な方のお手伝い、社会貢献に活かしてみませんか？

誰でもやさしく始められる入門講座です。

「難しそう…」というイメージを持たれがちですが、名古屋市身体障害者福祉連合会所属の講師が、点字の読み方、書き方を丁寧に分かりやすくお教えします。ぜひご参加ください。

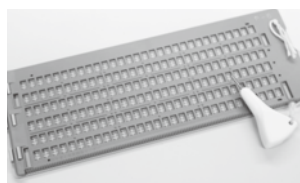
- 日 時 令和2年5月12日(火)
5月19日(火)
5月26日(火)の3日間
午後1時30分から3時30分まで
- 場 所 健康文化センター 2階 ボランティア室
- 対象者 大口町内・町外を問わず募集
- 参加費 500円(テキスト代を含む)
- 講 師 名古屋市身体障害者福祉連合会 近藤 和美 氏
- 協 力 ボランティア登録団体 点訳フレンド
- 申込み 令和2年4月1日(水)午前9時から
窓口・電話で受け付けます。

講座内容について

- 点字についての講話
 - 点字の読み方、書き方(基礎編)
 - ・点字の成り立ち
 - ・五十音と濁音、拗音
 - ・数字とアルファベット
 - ・分かち書き(文章をより細かく区切ること)
 - まとめ
- ※講師の都合により、内容が一部変更になる可能性があります。

点訳ボランティアとは？

町内の小学校で実施されている福祉実践教室の点字教室で講師のサポートをしたり、広報や配布物を点字にして視覚障がいをもつ方にお伝えするボランティアです。



- 申込先 社会福祉協議会
電話 94-0060 FAX 94-0059

ご協力ありがとうございました サロン備品買替のテーマ型募金



上小口萩島地区ふれあいサロン茶々会
募金にご協力いただいたみなさん

「ふれあいサロンで使う備品が壊れて困った」という声が上がっていることを受けて、大口町共同募金委員会では、サロン備品の買替を目的とした赤い羽根共同募金「テーマ型募金」を実施。

「みんなのサロンはみんなで支える」という趣旨に賛同したみなさまにご協力いただきました。

テーマ型募金 **39,930円**

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。順不同(2月29日までの取扱い分)

ヘルシーエイジングの会 様	14,850円
大口町建設協力会 様	100,000円
(株)セブン-イレブン・ジャパン 様	在庫商品一式
鷺見 時生 様	日本画作品



寄贈

鷺見 時生 様より大口社協
デイサービスセンターへ